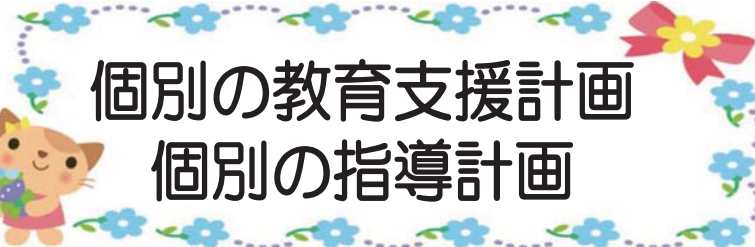


個別の教育支援計画 個別の指導計画



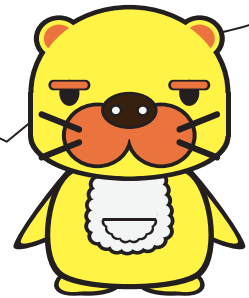
「個別の教育支援計画」・・・他機関との連携を図るための長期的な計画です。

一人ひとりの障がいのある子どもについて、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した長期的な支援の計画を学校が中心となって作成します。保護者の方をはじめとして、教育、医療、福祉等の関係機関が連携して支援するためのツールです。

「個別の指導計画」・・・学校で指導を行うための細かい計画です。

「個別の教育支援計画」をもとに、一人ひとりの教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法を盛り込んだ学校での指導の計画です。

「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成する時、また、入学した時や学校の懇談時に、この「にじいろのーと」を利用して学校と情報共有ができると便利です。『「にじいろのーと」を持っています。』と学校にお伝えください。



※個別の教育支援計画・個別の指導計画をつくるにあたって、学校に伝えていただきたいこと。

- 本人の願い・・・将来の夢、「こんなふうになりたい」など。本人が伝えにくい場合は、ご家庭で本人の願いをつかんでいただいて、保護者の方から伝えてもらえるとありがたいです。
- 保護者の願い・・・子どもさんが「将来、こんなふうに住んで欲しい」「こうなってもらいたい」など。
- 家庭での様子・・・学習面、行動面、社会性などで、得意なことや苦手なこと、好きな遊びなど。家庭で、「こうすればうまくいった」こと。過敏なところ（大きな音が怖い、雷が怖い）など。
- 学校で配慮してもらいたいこと
- かかっている医療機関、服薬の状況、利用している福祉サービスなど

【メモ】
